

出前講座「大仏パネル」学習指導案

日 時：平成 29 年 5 月 30 日（水）

9:40 ～ 10:25（2 校時）

10:45～11:30（3 校時）

11:40～12:25（4 校時）

場 所：出雲市立今市小学校体育館

対象者：同校 6 年生 96 名

指導者：○6 年部教職員

○島根県立古代出雲歴史博物館

増田浩太・澤田正明・矢野健太郎

1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
9:40～9:50/10:45～10:55/11:40～11:50（10 分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・模鑄品の銅鐸、銅剣を持参する。
9:50～10:15/10:55～11:20/11:50～12:15（25 分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さについて体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ 18mの大仏を完成させる。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
10:15～10:25/11:20～11:30/12:15～12:25（10 分） ③「奈良の大仏」について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・造立の背景、大仏開眼式について説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。 ・理解しやすい写真パネルを多用。

4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル、銅剣・銅鐸・銅鏡の模鑄品
- ・〔説明用具〕写真パネル

5. その他

- ・大仏パネル準備のため、9 時から体育館を使用させていただければと思います。